

東久留米のいきもの(蝶の仲間) 2021年東久留米市内で観察したアゲハチョウ科／シジミチョウ科の紹介



※[ナガサキアゲハ]アゲハチョウの中でも体が大きく尾状の突起がない。西日本で多く見られるが温暖化などの影響で徐々に日本列島を北上中とのこと。
写真の個体はオス。

東久留米のいきもの(蝶の仲間) 2021年東久留米市内で観察したシジミチョウ科／タテハチョウ科の紹介

シジミチョウ科: ムラサキシジミ



シジミチョウ科: ミズイロオナガシジミ



シジミチョウ科: クロマダラソテツシジミ



タテハチョウ科: ヒメアカタテハ



タテハチョウ科: アカタテハ



タテハチョウ科: アカタテハ



※[クロマダラソテツシジミ]市内で初めて観察した種類。ネットなどで調べると熱帯や亜熱帯地方が原産のシジミチョウの仲間で、2007年頃から日本でも観察できるようになったとの事。

東久留米のいきもの(蝶の仲間) 2021年東久留米市内で観察したタテハチョウ科の紹介



タテハチョウ科:ゴマダラチョウ



タテハチョウ科:ホシミスジ



タテハチョウ科:ホシミスジ



タテハチョウ科:コジャノメ



タテハチョウ科:ヒカゲチョウ



タテハチョウ科:ヒカゲチョウ

※[ゴマダラチョウ]市内での観察は毎年1例か2例ほどで個体数は少なく感じる。

※[コジャノメ]撮影してきた写真をじっくり見ていた所、後翅裏面の目玉模様の数がヒメジャノメと違う事に気づいた。調べた結果、コジャノメは大きな目玉模様の上に並ぶ小さな目玉模様の数が4つ(ヒメジャノメは3つ)であることが判明。

東久留米のいきもの(蝶の仲間) 2021年東久留米市内で観察したタテハチョウ科／セセリチョウ科の紹介

タテハチョウ科:コムラサキ



タテハチョウ科:ヤマキマダラヒカゲ



セセリチョウ科:チャバネセセリ



セセリチョウ科:イチモンジセセリ



セセリチョウ科:キマダラセセリ



タテハチョウ科:アサギマダラ



※[コムラサキ]ゴマダラチョウと同様に市内では観察することが少ない種類。更に少ないのが渡りをするアサギマダラ。2010年(※写真)と2013年、2019年の何れも10月、本州を南下する際に市内に立ち寄ったと思われる個体を記録している。